

2012/08/13

佐藤周行

## 1. 全体の傾向

プログラミング言語処理系論、ご苦労様でした。今回の提出傾向ですが、Java の言語仕様と VM の仕様をあわせてレポートにした人が複数人みられました。仕様に向き合うことで Java の全体像がつかめましたか？もうひとつは、XML のパーサーを書くなど、手を動かした人が一定数いたことです。良いですね。CS に関する課題で、プログラミングによる実験・実測は必須要件になりつつあります。そうしないと説得力が…CS はそんな感じに成熟したと思ってください。自分でプログラミング言語を定義して実装した上でその仕様書までを完璧に書いた早水君は両方やったということですね。そのような優秀なレポート（少数なのですが）に出会えることは教師冥利に尽きるというものです。

特に問 8（および 8'）ですが、きちんとした議論を行うには性能モデルの構築とそれを元にした実測が求められます。浅見君はその意味で見事でした。そのほかの人は定性的な議論を超えて定量的な議論ができるように勉強を続けてください。

問題、解くのが不完全だったり、間違っているものも見受けられましたが、それについては自力で解き直してください。再提出は不要ですが、やり直すのとやり直さないのでは、今後に影響くと思います（この手のことに関わり続けていれば、ですが）。よろしく。

## 2. 表彰

佐藤の成績の付け方はとても甘いです。その代わり、優秀なレポートを提出した人を講評時に表彰することで差をつけています。最近は成績表を見る目も厳しいですからね。

そういうわけで特に優秀なレポートを出した人をここにあげて表彰したいと思います。レポートを出した人が少なめだったので、2 人だけになりました。

最優秀：早水悠登 君

優秀： 浅見公輔 君

おめでとうございます。履歴書に書いて威張れるかどうかはよくわかりませんが、適当にご自慢ください。

以上